

会 報

66号



函館の歴史的風土を守る会会報
No.66 H12. 3.31
発行所 函館の歴史的風土を守る会
事務局 函館市五稜郭町43-9
五稜郭タワー株式会社(両角)
電話(0138) 51-4785
印刷所 (有)三和印刷 電話45-0845



勢ぞろいした2000年度の受賞者のみなさま

お 礼 に か え て

函館の歴史的風土を守る会々長 浜 島 国四郎

山崎文雄氏(財・函館市文化・スポーツ振興財団理事長)を実行委員長・小林亜紀子氏(FMイルカ・アナウンサー)を副実行委員長にお迎えし、沢山の皆様のご参加を頂き「第22回函館の町並みを美しくする新春チャリティーパーティー」を開催出来たことを、会員を代表して心から厚くお礼申し上げます。

昨今の景気の低迷が、一段と厳しい時節にもかかわらず、本会の趣旨にご賛同を頂き、チャリティオークションの景品を提供いただいた皆様に深甚なる謝意を表します。

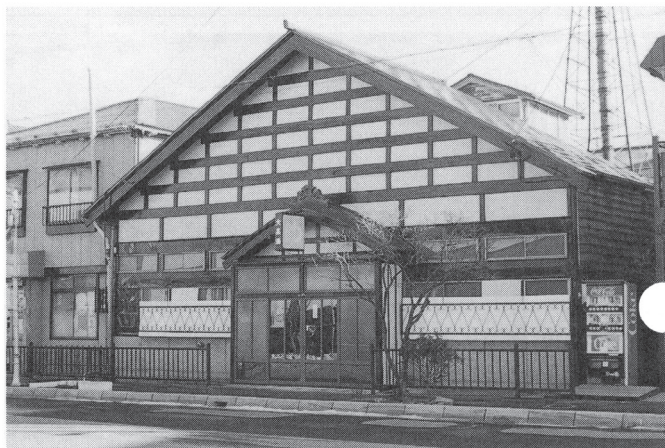
さて、函館には永年に亘り、その美しい町並みに潤いを与え、歴史的風土の保存に真剣に取り組みながら、大変なご苦勞をしている方々がおります。今年も別掲の方々に「歴風文化賞」を贈呈し、微意を表させていただきますことを御報告申し上げ、お礼の言葉といたします。

おめでとうございます！

第17回（平成11年度）歴風文化賞に輝やいた方々



原風景 見晴公園（香雪園）



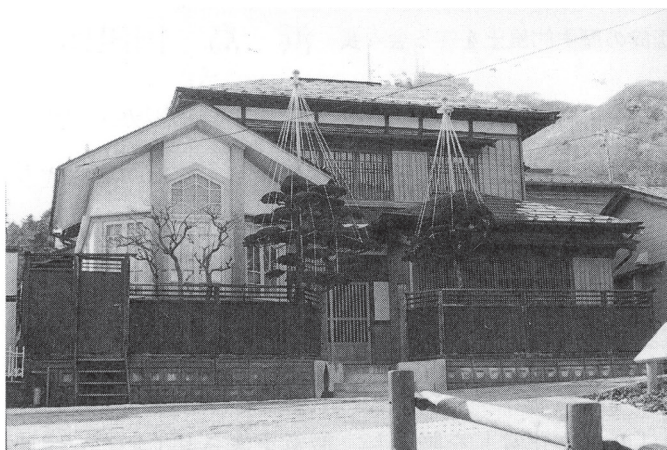
保存建築物 大黒湯（函館市弁天町）



保存建築物 安藤邸（大野町市渡）



保存建築物 箱館昆布館（函館市末広町）



保存建築物 能登邸（函館市元町）



保存建築物 八花倶楽部（函館市元町）

みなさまありがとうございました

第22回 函館の町並みを美しくする新春チャリティー・パーティー 《オークション商品協賛者》

- ・函館山ロープウェイ・(株)五島軒・カメラのたねざわ・(株)ナシオ函館支店・北海道コカ・コーラ万代店
- ・(株)第一食品・(有)末広堂・(有)山田万年堂・五稜郭タワー(株)・ガスコープ(株)・近藤商会(株)
- ・函館トヨペット(株)・三菱電機ライフテック北海道(株)函館営業所・(株)ゾーンプロジェクト・(株)ケイソー
- ・日新産業(株)
- ・平方 亮三・伊藤 郁子・枝松 和子・小熊 咲子・佐々木正子・田尻 聡子・対馬 誠
- ・根本 節子・吉村富士夫

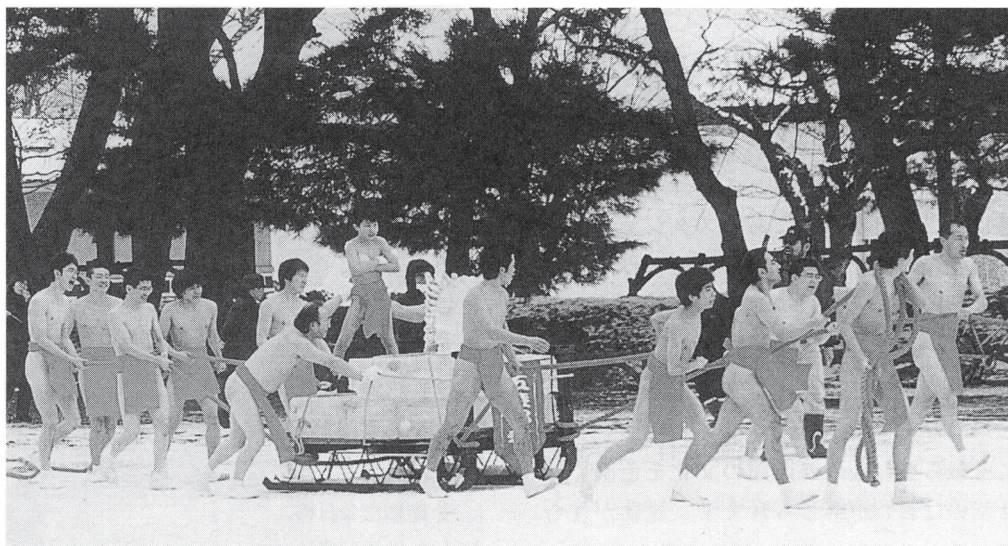
(順不同・敬称略)



保存建築物 カリフォルニア ベービー
(函館市末広町)



再生建築物 北海道店高齢者協同組合
道南地域センター「茜」
(函館市松陰町)



寒さなんか吹きとばせ！ 団体賞 エゾ共和国

歴風文化章選考基準

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| ① 建造物自体の貴重性。 | ② 持ち主が長年保存への努力を続けている。 |
| ③ 景観への寄与。 | ④ 歴史性。 |
| ⑤ 地域の町並みや社会全般へ波及効果が大い。 | ⑥ 諸々の制約の中で創意工夫が顕著である。 |

ごあいさつ

実行委員長 山崎 文雄



第22回函館の町並みを美しくする新春チャリティーパーティー実行委員長をお引き受けし、町並みを美しくするという大変奥の深い行事に改めて考えさせられました。実行委員会の皆様のご努力と歴風会会員の皆さまのご協力により、300名を超す多数の方々のご参加をいただき、この意義深い行事が盛大に開催できましたことは誠に喜ばしく、関係者の皆様には心よりお礼申し上げます。

22年の長い歴史を積み重ね、今尚300名以上の参加をいただいたこの会の意義は大変大きいものがあります。町並みが美しいことは住む者にとって誠に誇らしいことです。これは1人の努力で実現することではありません。町に住む一人ひとりの努力とお互いの協力によって始めて実現できることです。どの町にも人に与える印象があります。自然環境と調和した町、町並みが整っている町、街路樹の美しい町、歴史的な建物がよく保存されている町、区画が美しい町、人情味ある町、品格のある町、等、いずれもそこに住む人たちによって造られ、守られるものです。

函館の街は美しい自然環境に恵まれ、日本近代史の中で大きな役割を果たした街ですこれらを明確に印象づけて、誇り得る美しい町並みを後世に残したいものです。

建物が住む人と呼吸する町

副実行委員長 小林 亜紀子



気分転換の方法は、二十間坂の上にあるスタジオを出て元町を歩くこと。観光客の群れを通り過ぎるときガイドさんの名所案内に耳を傾けると...

「この協会はロシアのビザンチン様式で...」なるほどと、群れに混じって一緒にうなずくこともしばしばです。

観光ブックにこそ載らないものの函館の文化を色濃く残す建築物には、生活のにおいを感じられます。建物が住む人と共に呼吸しているかのよう。そのリズムで歩くのがちょうどいいまちなのでしょう。歴風文化賞を受賞された皆様にお話をうかがい、あらためて実感しています。ブーツを脱いで軽くなった足で、また散歩に出かけようと思っています。

新春チャリティーパーティーにご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



歴風文化賞を受けて

北海道高齢者協同組合 道南地域センター代表

我妻 貞寿

第17回歴風文化賞を賜り、身に余る光栄と感謝いたしております。受賞者を代表し、心から厚くお礼申し上げます。

私は、この地に居を構えて30有余年になりますが、年を経る毎に好きになる街です。古い寺と多くの教会、古い建造物などが、歴史と文化の歩みを物語ってくれている街。変化に富んだ大自然、そして温泉、山海の幸に恵まれ、人の情の深い街。私はこんな函館が大好きなのです。そして青山の地と決めました。しかし良いことづくめではありません。不平不満も介在します。それは行政も、経済界も、住民のみなさんも、心なしか街の活性化に対する取り組みが緩慢で消極的ではなからうか。勿論見解は飽くまでも私見であり、他と比較した印象にすぎないのだが。愛すればこそ、行政もより積極的に、住民も全面的に協力する体制と姿勢が望まれます。

「飛騨高山」ここは飛騨の小京都といわれ、一年を通じて多くの観光客が訪れる観光都市。行政の取り組みも熱心だが、住民の方々が早朝自宅前の道路を家族ぐるみで掃除している姿をよく眼にしますが、この姿勢と心意気が街創りに貢献しているのだと思います。私達の街も歴史的文化を愛していこうという集いを大切に、住民相互がそれぞれ自覚し認識して、行動することが肝要だと思っています。

受賞した今日のよき日を、更なる文化発展の機会とし、微力ながら盡力することをお誓いし、歴風会の今後のご活躍を祈念し、併せて貴会への惜しめない協力をお約束して、お礼の辞といたします。



開港5都市景観まちづくり会議・神戸大会に参加して

函館市都市建設部都市デザイン課 松村 由紀夫

安政5年(1858)、日米修好通商条約が締結され、函館・横浜・新潟・神戸・長崎の5港が開港された。

この共通の歴史を持つことを縁に、5都市において活動している市民団体が一堂に会し、交流や意見交換等をする場として、平成5年から「開港5都市景観会議」が開催されている。神戸から始まり長崎・新潟・函館・横浜と続き巡って今年は神戸市での開催となった。

神戸大会は、平成11年10月9日から10日11日までの3日間の日程で横浜市相楽園会館、神戸市立博物館等を会場に開催され、3日間とも好天に恵まれた。

1日目の全体会議は、神戸市相楽園会館を会場に、野沢神戸大会実行委員会会長の挨拶をもって始まり、笹山神戸市長挨拶、各都市代表の活動状況報告の後、アマチュア時

代から神戸市を舞台に多くの作品を撮り続けてきた映画監督大森一樹氏の記念講演が行われた。

2日目は、市内の3地域で地域分科会が開催され、それぞれタウンウォッチングと討議が行われた。

函館からは2分科会に参加した。

【地域分科会A 「賑わいのまちづくり」

＝歴史環境と都市活動＝(旧居留地地区周辺)

旧居留地地区は、神戸市の中心に位置し、三宮に接した明治期の近代建築物が数多く残る歴史的景観を有する地区である。

昭和58年に神戸市都市景観条例の景観形成地域に指定されて以来、ビルのオーナーを中心とする「旧居留地連絡協議会」が近代建築物を活かした「まちづくり」の活動を進めてきた。

分科会では、まず居留地の歴史などについてオリエンテーションを受けた後、タウンウォッチングを行い、ワークショップ形式で、地区の良いところ悪いところを整理し、今後のまちづくりの提案としてまとめた。

旧居留地地区は平成7年の震災で、ほぼ1/5のビルが解体せざるを得ない被害を受けたのであったが「旧居留地連絡協議会」の積極的な活動もあり、歴史的景観を活かしたまちづくりが進められていた。

かつては事務所ビルばかりで、夜には人通りがほとんどなかったが、ビルの低層階に店舗を配置することで、夜も明るくなり、人通りも増えているとのことであった。

地区は近代建築物の外観保存、セットバックや公開空地の確保、敷地内での植栽などにより、既に相当質の高い都市空間を形成しているが、分科会に参加した「旧居留地連絡協議会」のメンバーの話など



全体会議1～大森一樹氏特別講演

から、より質の高い景観づくりをさらに進めていこうとする意欲が感じられた。

まとめとしては、

- 変圧ボックスや案内板の改善
- 水の活用や花の咲く樹種の植栽
- ソフト戦略としてキャッチフレーズの設定などを提言とした。

【地域分科会B 「まちのアイデンティティ」

＝居住文化と商業・観光活動＝

(岡本・北野・山本、魚崎郷地区周辺)

神戸に居留する外国人の住宅地として発展してきた北野・山本地区、高級住宅地として開発された岡本駅周辺地区、日本酒の代表的産地である「灘五郷」の一つである魚崎郷を対象に、岡本をこよなく愛した文豪、谷崎潤一郎の足跡を訪ね歩き、まちのアイデンティティ、居住文化と商業活動のあり方をテーマにトークインを行った。

北野・山本・岡本地区は、个性的で良好な居住環境と高い文化レベルを有してきたが、近年は観光や商業活動なども活発に行われ、魚崎郷では、震災により数多くの木造家屋が失われ、地区を特徴づけてきた酒蔵に代わり、マンションや商業施設が次々と建て替えられているなど居住環境と商業環境の融和と調整が課題となっているとのことであった。

トークインでは、「まちの色と素材」、「まちと作家」、「まちと緑」、「まちと暮らし」、「まちのアイデンティティ」などについて各都市の状況報告なども交え、活発な意見交換が行われた。

分科会のまとめとして、

- 「まちづくり」においては上意下達型ではなく、住民からあがってきた声を行政が整理しながら、一緒になって考えていく関係を作ることが必要。
 - 便利さを追求するばかりでなく、土地への愛着、こだわりをもって考えることが大事。
 - 長いスパンで町並みを考えていくことがまちづくりの基本となること。
- などに集約された。

【地域分科会C 「動のまちづくり」

＝外国文化と産業共生＝

(南京町・トアロード地区周辺)】

神戸の中華街「南京町」は、外国文化を身近に肌で感じることができるエキゾチックなまちとして、形成、発展してきた。

この分科会では、外国文化と産業が共生し、融合しながら成長する動のまちづくりの開港5都市それぞれの活動事例などを交えながら、討議した。

南京町のまちづくりに春節祭は大きな役割を果たしており、多くの人々が訪れてくれるが、各種イベントは手作りでっており、業者任せにしていない。

また、来街者にはリピーターとなってもらうため、インターネットや南京町通信によって外部の人を対象に「南京町ファン」づくりをしている。イベント



南京町・龍踊り～

開港5都市景観まちづくり会議のため特別に演技

などの活動がマスコミに注目され、そのことで若手ががんばるなどの効果もあがっているとのことであった。

討議では、長崎から、「おくんち」という祭があるが、祭は行政主導ではなく、民間ががんばらなければならないと考えていること、新潟や函館からは、まちづくりの活動やまちを自らが楽しむことが大事であり、若い人もついてきてくれること、また横浜からは、全国各地で中華街をテーマパークととらえ、集客のねたにしている計画が盛んであるが、中華街はコミュニティであり、非常にイージーな発想などの意見が出された。

まとめとしては、

○中国文化を含む外国文化はアピール力があり、特に中国文化は参加型のイベントを通してだんだん日本と距離が近づきつつあるが、どう自分たちを見失わないで、ポリシーを大事にしているかがまちづくりのポイント

となった。

第3日目は、横浜市立博物館を会場に締めくくりの全体会議が開催された。

第2日に行われた分科会の報告の後、会議の名称「開港5都市景観まちづくり会議」とすること、安政5年に開港港に指定された函館、新潟、横浜、神戸及び長崎の5都市の市民が、景観、歴史、文化、環境などを大切にまもり、愛着をもってそだて、個性豊かで魅力あるまちづくりを行うため、相互に交流を深め課題を協議し、開港5都市のまちづくりの推進に資することを目的とすることなどから規約を定めた。

また、「神戸は大震災に見舞われ、安全・安心なまちづくりの重要性を再確認するとともに、成熟したまちとは、個性的で自律するまちであることを、復興の過程で学んだ。そしてこれは、私達、市民の主体的な取り組みと連携があってこそ実現するもので



全体会議2～分科会報告の様子

ある。さらに、こういったまちとまちの、あるいは都市と都市の個性がお互いに魅力を研ぎあうとき、各々の発展を持続可能とするし、真の安全も確保する。

このような認識に立ち、今日、ここに集った我々は、本大会の成果を各自のまちに持ち帰り、豊かなまちづくりに向けての努力を各々の地で継続していくことを互いに確認する」との大会アピールを宣言し、開港5都市の市民団体の意識と連携を深めた開港5都市景観まちづくり会議神戸大会が閉幕した。

次回は、平成12年長崎市で開催される。

おわりに、神戸大会を運営された神戸市の市民団体の熱意とご尽力に対し深く感謝の意を表したいと思います。

ご あ ん な い

歴史の町「伊達」と北海道電力の「オール電化住宅」(札幌)と「泊原子力発電所」の建学会を開催いたします。

- | | | |
|---------|---|----------------------|
| 1. 日 | 時 | 平成12年6月17日(土)・18日(日) |
| 2. 行 | 先 | 伊達・札幌・小樽・泊 |
| 3. 費 | 用 | 10,000円 |
| 4. 乗 | 物 | 貸し切りバス使用 |
| 5. 乗車場所 | | 函館駅前・五稜郭電停・亀田支所 |
| 6. 宿泊場所 | | 小樽市内 |

※申込後に詳細を連絡差し上げます。函館市柏木町40-12 浜島 国四郎

事務局だより

- ◇H12・1・10
平成12年度観光資源調査の対象選挙の結果について。ナショナルトラストより。
- ◇H12・1・10
函館C I 推進計画書。函館市より。
- ◇H12・1・10
金丸大作 写真展「函館物語」
- ◇H12・1・12
平成11年度 第2回「まちづくり講座」の案内あり。－函館市より－
- ◇H12・1・16
第1回 チャリティ・P実行委員会
第10回 運営委員会 於五島軒
- ◇H12・2・3
ヨハネ教会前の大京敷地への美術館建設について、鈴木設計事務所長から説明会を開催。約40人参加。
- ◇H12・2・3
「まちづくり集団基本調査」－あしたの日本を創る会より。
- ◇H12・2・4
まちづくり講座 於サンリフレ
原田英生(流通大学教授)
「タウンマネジメントとダウンタウンの再生」
- ◇H12・2・6
平成11年度「地域づくり運動集団活動状況報告書」の提出求められる。
- ◇H12・2・6
市営住宅の借上げマンション建設の件通報あり。
山本眞也氏にTELするも通せず。
- ◇H12・2・7
・「あなたの北海道」募集について
- ◇H12・2・7
・地域フォーラム「松前半島の浪漫－歴史をたずねて－」 於上ノ国町。 渡島支庁主催。
- ◇H12・2・17
臨時運営委員会 於キャノン
市営住宅について。－説明会開催の要望書提出を決める。
- ◇H12・2・18
第22回チャリティーP. 開催、於五島軒本店、約330人参加。函館市へ15万円寄附。(2/22)
- ◇H12・2・19
渡島コミュニティ運動に今年度事業報告書を送る。
- ◇H12・2・20
日下部氏より諸資料受領。

- ◇H12・2・21
金子(函館市都市建設部)部長へ要望書提出。(三会合同)
- ◇H12・2・22
市デザイン課より、上記の件、日程・場所等の打合せ。
- ◇H12・2・24
ふるる函館(谷地頭) 第1回説明会が開催されたが時間切れとなったため第2回の開催を申し入れる。
- ◇H12・3・1
第2回説明会 於サンリフレ 約100名 参加。
- ◇H12・3・7
大町に建設予定の9階建借上げ住宅について説明会開催を市に申し入れる。
- ◇H12・3・8
函館市長及び市議会議長へ、借上げ住宅について陳情書を提出した。

グループだより

平成12年

- 1. 10 『明日へのJCCA』
－函館特集・206号－届く。
- 1. 10 「町並み連盟」1月号 届く
- 1. 12 「渡島コミュニティ」51号 届く
- 2. 7 「ぶんぽけん」88号 届く

編集後記

- ◇例年天候になやまされたチャリティ・パーティも2月18日、無事終了した。
時節柄、参加者数を心配したが、お陰様で予定をクリア出来ました。
ご参会の皆様には深甚なる敬意を表します。
- ◇さて、雪も少なく、穏やかに明けた2000年度も、2月に入るとにわかに喧騒さを増した。「歴風会」はもとより、多くの市民が永い年月をかけ育ぐんだ函館の景観が一番信頼していた「函館市」によって、破壊されたからである。
- ◇指定区域の隣接地に8階建アパートを建てたら景観はどうなるか? 一番気を使うべき行政が率先して工事に加担していることを聞いたら、今迄自らの生活を犠牲にして景観保全に尽力してきた市民や、それを誇りとして生活している全市民に、どう説明するつもりなのか? しかもその説明を一度もせずに着工に踏み切った無神経さは行政の奢りであり、暴挙と言わざるを得ない。
- ◇今度の行政の暴挙が「歴風会」の存在そのものを無視し、全市民が描く「函館市百年の大計」を踏みにじるものであることに、一日も早く気づき、適切な軌道修正を願うものである。

(文責 落合浩彦)